



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日
東

上場会社名 片倉工業株式会社 上場取引所
 コード番号 3001 URL <https://www.katakura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上甲 亮祐
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森 英明 (TEL) 03(6832)0229
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	31,174	△8.0	3,446	36.7	3,971	29.2	1,715	18.2
2019年12月期第3四半期	33,888	1.2	2,521	87.0	3,072	56.2	1,450	20.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △2,229百万円(-%) 2019年12月期第3四半期 2,982百万円(△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	49.22	—
2019年12月期第3四半期	41.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	135,896	81,161	42.0
2019年12月期	140,993	84,601	42.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 57,009百万円 2019年12月期 59,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	14.00	14.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,600	△12.4	2,500	△2.7	3,250	△5.2	1,600	△7.7	45.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年12月期3Q	35,215,000株	2019年12月期	35,215,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年12月期3Q	706,508株	2019年12月期	157,124株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年12月期3Q	34,846,722株	2019年12月期3Q	35,057,014株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託 (BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信「添付資料」P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を背景に厳しい経済環境へと急速に転じました。緊急事態宣言の解除後も経済活動の回復に向けた動きは鈍く、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症が事業環境にもたらす変化を見極めながら、構造改革後の取組みを進め、中長期的な企業価値の向上を目指しております。

不動産事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、行政からの要請等を踏まえ、感染拡大防止の観点から商業施設の臨時休業や営業短縮を実施しました。営業再開にあたっては、お客様および施設従業員等の安全を最優先し、感染防止と安全・安心のための対策を実施しました。また、社有地開発や既存商業施設の再構築・鮮度維持・魅力度向上等に経営資源を振り向け、更なる成長を図ってまいりました。

医薬品事業では、ジェネリック製品のラインナップ拡充、販売・生産・研究にかかるコスト構造の更なる見直しにより収益基盤の確立に努め、機械関連事業の消防自動車関連では、採算性を重視した営業体制の構築や生産性の向上に継続して取り組んでまいりました。

また、繊維事業の実用衣料では、当社衣料品事業部門の大幅縮小と、一部事業の連結子会社への譲渡を進めるとともに、付加価値の高い介護商品拡充により収益力の強化を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、医薬品事業で増収となったものの、機械関連事業において消防自動車関連で減収となったこと、不動産事業において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりショッピングセンターで臨時休業や営業時間短縮を行ったこと、繊維事業において当社衣料品事業部門を縮小したこと等により、311億74百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

営業利益は、不動産事業で減収により減益となったものの、医薬品事業で増収により増益となったこと、構造改革により不採算事業からの撤退と採算性向上を進めたこと、当社管理部門の労務費が減少したこと等により34億46百万円（前年同四半期比36.7%増）、経常利益は39億71百万円（前年同四半期比29.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億15百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 不動産事業

不動産事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によりショッピングセンターで臨時休業や営業時間を短縮したこと等により減収となりました。

この結果、不動産事業の売上高は72億28百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業利益は28億24百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

② 医薬品事業

医薬品事業は、2020年4月の薬価改定の影響はあったものの、経皮吸収型・β1遮断剤「ビソノテープ」等の販売増および2020年4月から尿酸排泄薬「ユリノーム錠」の発売開始により増収となりました。

この結果、医薬品事業の売上高は111億22百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は増収に加え医療機関向け研究会の開催中止等に伴う販売費の減少により10億7百万円（前年同四半期比58.7%増）となりました。

③ 機械関連事業

機械関連事業は、消防自動車関連で、前期にODA向け車両及び電力会社向け車両の受注があった反動により減収となりました。

この結果、機械関連事業の売上高は68億99百万円（前年同四半期比13.2%減）、営業利益は消防自動車関連の原価低減の取り組みが奏功し1億38百万円（前年同四半期は48百万円の損失）となりました。

④ 繊維事業

繊維事業は、実用衣料分野を縮小したこと、水溶性繊維等の機能性繊維が低迷したことにより減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は46億78百万円（前年同四半期比18.0%減）、営業利益は実用衣料での商品構成・販路見直しや労務費・販管費等の減少による採算性向上により2億45百万円（前年同四半期比1,013.2%増）となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等により構成されております。

ビル管理サービスが好調に推移したものの、前期8月に介護福祉機器事業、当期1・2月にはなびらたけ・高機能野菜の生産・販売事業から撤退した影響により、その他の売上高は12億46百万円（前年同四半期比6.6%減）、営業利益は不採算事業からの撤退により72百万円（前年同四半期は52百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,358億96百万円（前連結会計年度末比50億97百万円減、同比3.6%減）となりました。

これは、現金及び預金が増加したものの、建物及び構築物、投資有価証券が減少したことが主因であります。

(資産の部)

流動資産は、541億56百万円（前連結会計年度末比16億6百万円増、同比3.1%増）となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛品であり、受取手形及び売掛金、仕掛品がそれぞれ5億98百万円、9億45百万円減少し、現金及び預金が増加しました。

固定資産は、817億40百万円（前連結会計年度末比67億3百万円減、同比7.6%減）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、投資有価証券であり、それぞれ12億14百万円、62億49百万円減少しました。

(負債の部)

流動負債は、217億19百万円（前連結会計年度末比22億34百万円増、同比11.5%増）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金、短期借入金であり、支払手形及び買掛金が14億17百万円減少し、短期借入金が増加しました。

固定負債は、330億15百万円（前連結会計年度末比38億91百万円減、同比10.5%減）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金、繰延税金負債であり、それぞれ13億47百万円、18億52百万円減少しました。

(純資産の部)

純資産は、811億61百万円（前連結会計年度末比34億39百万円減、同比4.1%減）となりました。また、自己資本比率は42.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年8月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,825	31,323
受取手形及び売掛金	9,901	9,302
リース投資資産	5,051	4,986
商品及び製品	2,886	2,567
仕掛品	3,027	2,081
原材料及び貯蔵品	2,263	2,414
その他	1,601	1,492
貸倒引当金	△7	△12
流動資産合計	52,549	54,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,515	28,300
土地	16,458	16,446
その他（純額）	2,006	2,110
有形固定資産合計	47,979	46,857
無形固定資産	512	457
投資その他の資産		
投資有価証券	37,017	30,767
退職給付に係る資産	2,211	2,872
その他	756	818
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	39,952	34,425
固定資産合計	88,444	81,740
資産合計	140,993	135,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,634	4,217
短期借入金	3,572	7,337
1年内返済予定の長期借入金	1,525	1,525
未払法人税等	700	597
賞与引当金	322	639
役員賞与引当金	16	0
その他	7,712	7,402
流動負債合計	19,485	21,719
固定負債		
長期借入金	9,672	8,324
長期未払金	1,656	1,464
繰延税金負債	10,591	8,738
役員株式給付引当金	39	50
土壤汚染処理損失引当金	45	39
退職給付に係る負債	2,573	2,595
長期預り敷金保証金	8,989	8,667
資産除去債務	1,611	1,545
その他	1,727	1,588
固定負債合計	36,906	33,015
負債合計	56,392	54,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	332	282
利益剰余金	40,310	41,533
自己株式	△210	△820
株主資本合計	42,249	42,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,289	13,857
繰延ヘッジ損益	7	△5
退職給付に係る調整累計額	398	343
その他の包括利益累計額合計	17,696	14,196
非支配株主持分	24,655	24,152
純資産合計	84,601	81,161
負債純資産合計	140,993	135,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	33,888	31,174
売上原価	21,294	19,183
売上総利益	12,594	11,991
販売費及び一般管理費	10,073	8,544
営業利益	2,521	3,446
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	539	585
その他	207	273
営業外収益合計	750	861
営業外費用		
支払利息	102	80
その他	96	255
営業外費用合計	199	336
経常利益	3,072	3,971
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	466	224
特別利益合計	468	224
特別損失		
固定資産処分損	156	—
事業撤退損失	248	—
割増退職金	519	993
新型コロナウイルス感染症による損失	—	280
特別損失合計	924	1,273
税金等調整前四半期純利益	2,617	2,922
法人税、住民税及び事業税	859	736
法人税等調整額	9	15
法人税等合計	868	752
四半期純利益	1,748	2,169
非支配株主に帰属する四半期純利益	297	454
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,450	1,715

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,748	2,169
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,082	△4,335
繰延ヘッジ損益	△9	△12
退職給付に係る調整額	160	△50
その他の包括利益合計	1,233	△4,399
四半期包括利益	2,982	△2,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,236	△1,784
非支配株主に係る四半期包括利益	746	△444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式554,400株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が609百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が820百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	8,092	10,806	7,951	5,704	1,334	33,888	—	33,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	—	0	3	178	203	△203	—
計	8,114	10,806	7,951	5,708	1,512	34,092	△203	33,888
セグメント利益 又は損失(△)	3,161	634	△48	22	△52	3,716	△1,195	2,521

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムレタス・はなびらたけの販売等のライフソリューション事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,195百万円には、セグメント間の取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,187百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	不動産	医薬品	機械関連	繊維	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	7,228	11,122	6,899	4,678	1,246	31,174	—	31,174
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	—	—	3	179	203	△203	—
計	7,249	11,122	6,899	4,681	1,425	31,378	△203	31,174
セグメント利益 又は損失(△)	2,824	1,007	138	245	72	4,289	△842	3,446

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△842百万円には、セグメント間の取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△837百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。